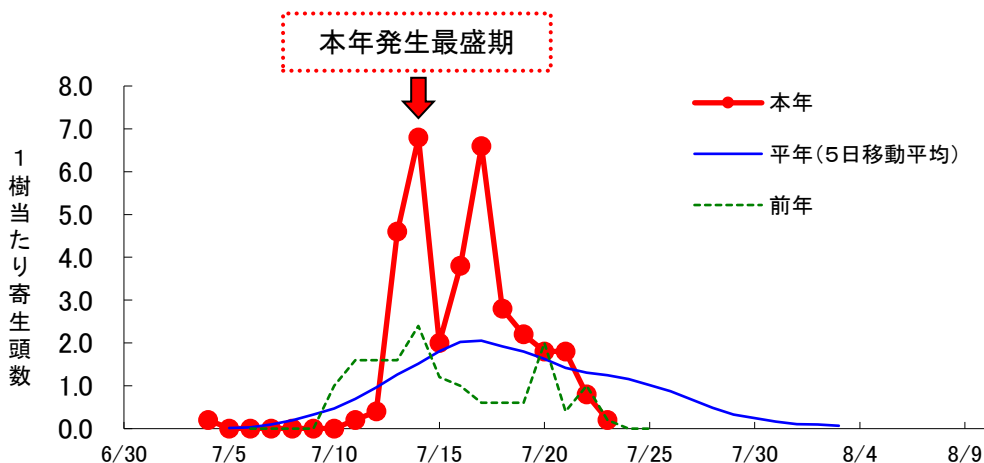


カキノヘタムシガに注意（第2報）

発生時期 （発蛾最盛期）	やや早い （平年比4日早）
発蛾最盛期樹あたり発生量 本年：6.8頭（平年：3.6頭） 発蛾最盛期 本年：7月14日（平年：7月18日）	

岐阜市木田で行ったカキノヘタムシガの見取り調査において、本年の第1世代成虫は7月14日と17日にピークが2回認められました。発生時期は発蛾最盛期の平年値（7/18）と比較して、1回目のピーク（7/14）は平年よりやや早くなり、発生量は樹あたり6.8頭（平年3.6頭）と平年より多くなりました。

発蛾最盛期3～10日後頃より幼虫が果実へ食入するため、防除適期は7月下旬頃と予測されます。本虫は防除適期が短いため、防除のタイミングに注意してください。なお、例年発生が多いほ場では、1回のみ防除では不十分な場合がありますので、長期残効が期待できる薬剤を選択するか、1回目の防除から7～10日後に追加防除を実施してください。



見取り調査によるカキミガ(カキノヘタムシガ)第1世代成虫の1樹あたり寄生数の推移
(岐阜市木田)

- ・農薬の使用にあたっては、最新の登録内容を確認し、適正に使用してください。
農薬登録情報提供システム
<https://pesticide.maff.go.jp/>
- ・当所のホームページに発生予察情報、病虫害調査データなどを掲載していますのでご活用ください。
岐阜県病虫害防除所
<https://www.pref.gifu.lg.jp/soshiki/24321/>